

特別講演 2

「明日からの臨床に役立つ不安・抑うつ診方と対応のコツ」

東京女子医科大学病院 神経精神科 教授

坂元 薫 先生

パニック障害は、一般人口の数%に見られ、決して稀な疾患ではないが、適切な診断と治療を受けているひとは非常に少ない。パニック障害の早期診断と治療のポイントを示したい。

うつ病は実にポピュラーな疾患である。にもかかわらず、適切な診断と治療を受けているひとはほんの一握りにしかすぎない。こうした事態がなぜ起こるのだろうか？本講演では、うつ病の早期発見、適切な診断と治療のポイントを明日からのプライマリケアにおけるうつ診療に直結するような形で提出したい。また、プライマリケア医が精神科・心療内科専門医に任せの方がよい症例、あるいは専門医に紹介するタイミングやその仕方についても具体的に提示する。